

JSS ニュース

ジャパニーズ ソーシャル サービス

Japanese Canadian Cultural Centre 2nd Floor, 6 Garamond Court, Toronto, Ontario M3C 1Z5
電話: 416-385-9200 ファックス:416-385-7124 Eメール: office@jss.ca Website: www.jss.ca

トクさんチームのトロント・チャレンジでの活躍

(デイビッド 池田)

2010年6月13日に、毎年恒例のトロントチャレンジ(5kmの走っても歩いても良いマラソン大会)が開催され、JSSからは理事の1人であるトク須山さんをはじめ、たくさんの方のJSS関係者が、JSS運営資金集め活動の一環として参加した。

トロント・チャレンジは、トロント市が主催する、高齢者福祉の向上を目的とした非営利団体向けの活動資金集めのためのイベントで、毎年自身が高齢の須山さんが先頭に立って参加し、集めた多額の寄付金を、他の参加者とともにJSSに寄付してくれている。

須山さんは今年、これまでで最高の\$6,000を超える寄付を集めた。



Toke Suyama at the Toronto Challenge

今年参加したメンバーは、JSSサポーターのシド池田さん、ミツ伊藤さん、前理事でJSS大ファンのルース スミさんなどで、彼らは多大な寄付金(総額で\$12,000を超えた)を集め、またJSS会長の前川威男さんは参加するとともに、資金集め、チームの応援と写真撮影を担当した。

マラソン参加者並びに寄付をして下さった皆様に心よりの感謝を申し上げます。



Japanese Social Services

A non-profit, charitable organization providing culturally relevant services in Japanese and English

2010/11年
冬春号

JSSの活動を支えるボランティアをやってみませんか。

これまであまり起きなかったことですが、JSSではこのところ、プログラム実施のためのボランティアの数が不足気味になっています。

たとえば、10月から6週間にわたって開催が予定された新しいプログラム、「ママ友ワークショップ」は、チャイルドケアを担当するボランティアが不足したため、開催を延期しざるを得ませんでした。すでに5人の方々が参加登録を済ませていただいただけに、プログラム開催を推進していた公家カウンセラーにとっても、大変残念なことになりました。

これ以外にも、ボランティア不足の影響が出ているプログラムがあります。そこでJSSは現在、プログラムの推進役やチャイルドケアを担当してくれるボランティアを鋭意探しています。

一方、例えば、Wynford Seniorの皆さんに食べていただくランチを作る、Hot Lunchのようなプログラムでは、十分なボランティアが参加してくれています。

JSSではこれまで、ボランティアが不足することはあまりありませんでした。ワーホリや短期留学の若者たちの参加も多く、必要が満たされていたのです。ところが今年後半に入って、理由は不明ですが応募者の数が少なくなっています。ボランティアコーディネーターの前川夫人や、プログラム委員長の傳法理事は、皆さんに事態を切り抜けるための協力を求めています。コミュニティーの皆さんのボランティアとしての参加はもとより、ボランティア活動をする場としてのJSSを知り合いの方々に紹介し、参加希望者はJSSの事務所と連絡をとってください。

前川理事長は、「JSSの活動にボランティアとして参加することで、それまで疎遠だった人々がコミュニティーにとけ込む機会になり、コミュニティーのために活動できる。」と考えています。また、例えばCCE (Canadian Conversational English)で、クラスの取りまとめ役のボランティアをすることで、英会話を教える状況を知るよい機会になるなど、新しい経験の機会になります。

ボランティアを希望する方は、電話(416)385-9200またはメール office@jss.ca で事務所と連絡をとってください。

JSSホリデードライブ

JSSは毎年年末に、コミュニティーで恵まれない、ないしは寂しい生活をしておられる方々に楽しい時期を過ごしていただくための助け合い活動として、未使用の贈り物や腐りにくい食料品を集め、お届けしています。

寄贈品をお持ちの方は最寄りの寄贈箱までお持ちいただくとともに、もしギフトの受取人として推薦したい方をご存知でしたら、JSSカウンセラーまでご連絡下さい。

私共のドネーションボックスを置かせて下さった地域の団体、並びに贈り物を寄贈いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



カウンセリング

まさに“光陰矢のごとし”で、今年ももう師走となった。少し早いですが、JSSのカウンセリングに関して今年を振り返ってみると、一番印象的なのは子どもの相談者の増加である。2008年度の統計では、月平均で3人くらいだった子どもの相談者が、今年度は月平均6人以上になっている。相談者全体の割合から見れば、まだまだ子どもの割合は少ないが、2年前からの増加率だけで見れば100%増である。

子どもの相談者数増加の理由および、この増加が一過性のものであるのかどうかは正確にはわからないが、この数は増加していくような気がなんとなくなくなる。子どもたちの保護者がカウンセリングに連れてくるケースが多いが、Children's Aid Society、教育委員会、学校などから持ち込まれるケースも少なくない。相談内容としては、いじめ、ADHD、摂食障害、自閉症、学習障害、自傷行為、パニック障害、不登校およびうつ症状等の問題が多い。

上記した相談内容をみればわかるように、子どもの相談者においても“心の健康”に関するケースが多い。しかしながら、日本語が話せ、かつカナダで診療を行えるライセンスを持っている精神科医がGTAには1人もいない。そのため、親の駐在勤務に伴いトロントに来ている子どもたちや、単身でこちらの学校に留学している子どもたちが心の健康に大きな問題を抱えた場合、日本に帰国して治療に当たるのが唯一のオプションとなることもある。CAS、現地校や教育委員会からJSSにリファーされる子どものケースの多くはカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、サイコロジストおよび保護者を含む多面的アプローチで対応することが多い。

JSSの理事の1人である傳法清氏はGTAではおそらく唯一、カナダ全体で見ても数名しかいないであろう日本語を話せる言語療法士であり、傳法氏と私が協力して対応に当たったり、JSSから傳法氏に完全にリファーするケースも多い。私に関して言うと、「子どものカウンセリング」が一番の得意分野である。傳法氏も私も子どもと関わる仕事が好きで、今年はトロントにある日本語学校のいくつかと連携して子どもたちをサポートする体制をつくる足がかり的活動も始めた。おそらく、このことはJSSの子どもの相談者の増加の一因となっているように感じる。

JSSのウェブサイト「www.jss.ca」には、私たちの活動に関するよりたくさんの情報が掲載されていますので是非ご覧下さい。

ジャパニーズソーシャルサービス(JSS)メンバーシップ・キャンペーン

JSSはカナダ政府に登録された非営利・慈善団体です。

JSSの活動は日本文化を背景に持ち、異文化の中で生活している日系人、日本人を対象として日英両語によるカウンセリングと共に情報提供、関係援助機関の紹介、セミナーなどのプログラムや擁護のための活動を行っております。プログラムとしては

新移住者、来訪者のためのESLクラス

育児・養育のワークショップ

女性の自助グループ や クラフトクラブ

シニアのためのホットランチや、“こんにちわ”訪問プログラム

等々があります。本年8月には、8週間にわたるシニアのためのメンタルヘルスのセミナーを開催し、ご好評を頂きました。又JSSはタイムリーな話題のセミナーも開いていますし、コミュニティーの需要に合わせて新しいプログラムも随時追加しております。詳しくはウェブサイトをご覧になるか、直接事務所にお尋ね下さい。

今年は、8月末までで既に300人を越える方々に対してカウンセリングを実施し、種々のプログラムへの参加者数は1,000人を超えました。

JSSではあなたのサポートを必要としています。

JSSはトロント市やその他多くの団体や個人の方々からいろいろな形で資金援助を頂いておりますが、これらは活動に必要な経費の一部をカバーするのみです。私たちは機会を捉えてはバザー、クラフトセール等を行い、資金獲得に努めていますが、これで必要経費を全て賄うことは容易ではなく、昨年、一昨年は赤字運営を余儀なくされました。このような事情から皆様方のご支援をお願いすることがどうしても必要です。

何故JSSの会員になることが大事なのでしょう？

トロントは皆様御存知のように多民族社会です。公式言語の英語、仏語の他にもありとあらゆる言語でのサービスが提供されています。しかしながら、日本人の人口が少ないという理由から日本語でのサービスはほとんどなされていないのが現状です。JSSはそのギャップを埋めるためサービスやプログラムを提供しています。会員数が増え、日系コミュニティーからの需要が増えればJSSはもっと多くの活動を行うことが出来るようになります。

JSSの活動があなたにも又、日系コミュニティーにも大切だということを示すためにも JSSの活動を支える会員になって下さる様お願いいたします。

メンバーシップ委員会 遊佐 ひろみ